情報おきたま

置賜教育事務所指導課だより
令和5年8月 No.123

誰一人取り残さない授業づくりプロジェクト会議

昨年度までの、「『考える力』を育む授業づくり研究会」と「学習指導研修会」の名称をそれぞれ「『誰一人取り残さない授業づくり』プロジェクト会議」、「『誰一人取り残さない授業づくり』研修会」に変更し、プロジェクトをスタートしました。今年度は、

プロジェクト理念「すべての子どもに自ら学びをつくっていける姿を」の下、

「『子どもの実態や発達段階に即して』、『誰一人取り残さず、子ども一人ひとりに自ら学びをつくっていく力を育む』授業、授業研究会の具体を置賜管内に発信する。」をミッションとして当日の授業や事後研究会の持ち方などを構想していきます。各教科とも、小・中学校教員の合同チームで学びの系統性に考慮した授業づくりを行って参りたいと思います。以下の日程でそれぞれの部会による研修会を開催予定です。たくさんの先生方のご参加をお待ちしております。（申込については別途実施要項を送付しますのでご確認ください。）

国　語　部　会	１１月　１日（水）	（会場：高畠町立高畠小学校）
算数・数学部会	１１月２８日（火）	（会場：米沢市立広幡小学校）
外 国 語 部 会	１１月２０日（月）	（会場：白鷹町立白鷹中学校）

≪　国語　≫

研究員：◎芳賀　弘善　教諭（高畠町立高畠小学校）
藤田　美穂　教諭（米沢市立東部小学校）
小野　裕美　教諭（川西町立川西中学校）
※◎は授業者

学びの意欲をどの子にも！！

目の前にいる子ども達に「こんな力をつけたい。」と実態や願いを話し合うことから始まりました。表現が苦手だったり、自分の思いが先行してしまったりという実態から、相手を受容する双方向のやり取りができるような子どもを育て、どの子どもにも主体的な学びをしてほしいという共通の願いが見えてきました。『すべての子どもに自ら学びをつくっていける姿を』の理念のもと、学びの意欲を育て、それを持続させていくために、単元構想の工夫や言語活動の充実を図ります。また、教科横断的な学びの観点から総合的な学習との関連や年間カリキュラムのモデルを提示していきたいと思います。ぜひ、一緒に、一人ひとりの学びたい意欲を大切にするとは何か考えていきませんか？

≪　算数・数学　≫

研究員：◎二瓶　　静　教諭（米沢市立広幡小学校）
　　柴田　志保　教諭（南陽市立宮内小学校）
　　片倉　裕子　教諭（長井市立長井南中学校）
※◎は授業者

自由進度学習に挑戦！

　はじめに各学校の現状と課題を話し合ったところ、「子ども達の学習内容の理解度の差」が校種問わず、大きな課題であることが確認されました。
プロジェクト理念とこの課題を照らして考え、「自由進度学習」の可能性を探ろうということになりました。研究員も担当する指導主事も誰も経験したことがない授業スタイルへの挑戦です。「どのように進めればいいのか」、「目の前の子どもたちに意味のある学びになるのか」、「指導案はどのような内容にすればいいのか」…解決すべき課題はたくさんありますが、前向きに挑戦していきたいと思います！興味を持たれている先生も多くいらっしゃると思います。事前研の様子も動画で公開しますので、ぜひご覧いただきコメントなどもいただきながら進めていきたいと思います。ぜひ、たくさんの先生方に当日、足を運んでいただければと思います！

事前研の動画もぜひご覧ください！　https://youtu.be/enoqLFLYCSg

事前研で使用した資料はこちらから確認いただけます！　https://onl.sc/3ktLSXB

≪　外国語　≫

研究員：◎飯澤　　喜　教諭（白鷹町立白鷹中学校）
　　岡村　美和　教諭（南陽市立沖郷中学校）
　　髙橋　利幸　教諭（川西町立小松小学校）
　　衣袋　理佳　教諭（飯豊町立第二小学校）
※◎は授業者

自ら学びをつくるには？

『誰一人取り残さず、子ども一人ひとりに自ら学びをつくっていく力』を英語の授業を通してどう育むことができるのだろう…。教室を見渡せば、子ども達の英語力の差は大きい。一度に多くの情報を取り入れる子もいれば、そうでない子もいる。そうした特別でない、よくあるクラスの実情の中で、すべての子どもがそれぞれに自分の学びをつくることはできないだろうかと考えました。

　よくよく授業を振り返ると、英語力の差を超えて、「どの子どもも夢中になる瞬間がある」という共通の話題へ。小学校も中学校も、子ども達にとって身近で、リアルで、面白そうで、…といった校種を超えて、前のめりになる共通の瞬間があることが分かり、これが授業づくりのカギにならないだろうかと話題になりました。

　「新時代の英語教育推進事業」で、英語教育実践リーダーも務めている４人の先生方。生き生きと学ぶ子ども達の姿を引き出すべく、現在、試行錯誤中です。これからの英語の授業を一緒に考えてみませんか？先生方のお越しをお待ちしています。

生徒指導提要の改訂のポイント～生徒指導の機能を生かした授業づくり～

国立教育政策研究所　生徒指導・進路指導研究センター　総括研究官　髙橋　典久　氏

第1回置賜地区いじめ・不登校防止連絡協議会（5/25）では、国立教育政策研究所の髙橋典久総括研究官をお招きし、上記のテーマでご講義いただきました。前半は、令和4年12月に改訂された生徒指導提要について、生徒指導の「目的」の変化や「させる」生徒指導から「支える」生徒指導への転換等、私たちが日常で意識すべきポイントについて詳しくご講義いただきました。後半の演習では、先生方が日々の授業や学級経営で行ってきた手立てや工夫を生徒指導の実践上の4つの視点で分類し、グループでの対話を通して考えを深めました。参加された他校の先生方の取組みを聞いて、「なるほど！」、「私もやってみよう」という声があがり、会場全体に笑顔とあたたかな雰囲気が広がりました。

＊今後の生徒指導の在り方について考えるヒントをたくさんいただきましたので、その一部を紹介します。

生徒指導の「目的」の変化

平成版

生徒指導は、児童生徒一人一人の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指す。

改訂版

生徒指導は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることを目的とする。

✓ 個性の捉え

「強いところ・長所」・「弱いところ」・「育ちつつあるところ」　全て

▶ 多様性を認め合う社会の形成

✓ 主語の変化

教職員　→　児童生徒

▶ 「させる」生徒指導から「支える」生徒指導への転換

（朝井　薫　月刊『教職研修』2022年12月号　特集）

© Norihisa TAKAHASHI　National Institute for Educational Policy Research, Guidance & Counseling Research Center

発達支持的生徒指導とは

特定の課題を意識することなく、全ての児童生徒を対象に、学校教育の目標の実現に向けて、教育課程内外の全ての教育活動において求められる基盤

「発達支持的」とは

あくまでも児童生徒が自発的・主体的に自らを発達させていくことを尊重し、その発達の過程を支える学校や教職員の児童生徒に向き合うスタンス
（「指導」でもなく「援助」でもない）

（例）日常的なあいさつや声かけ、励まし、賞賛、対話、授業、行事等での個と集団への働きかけ

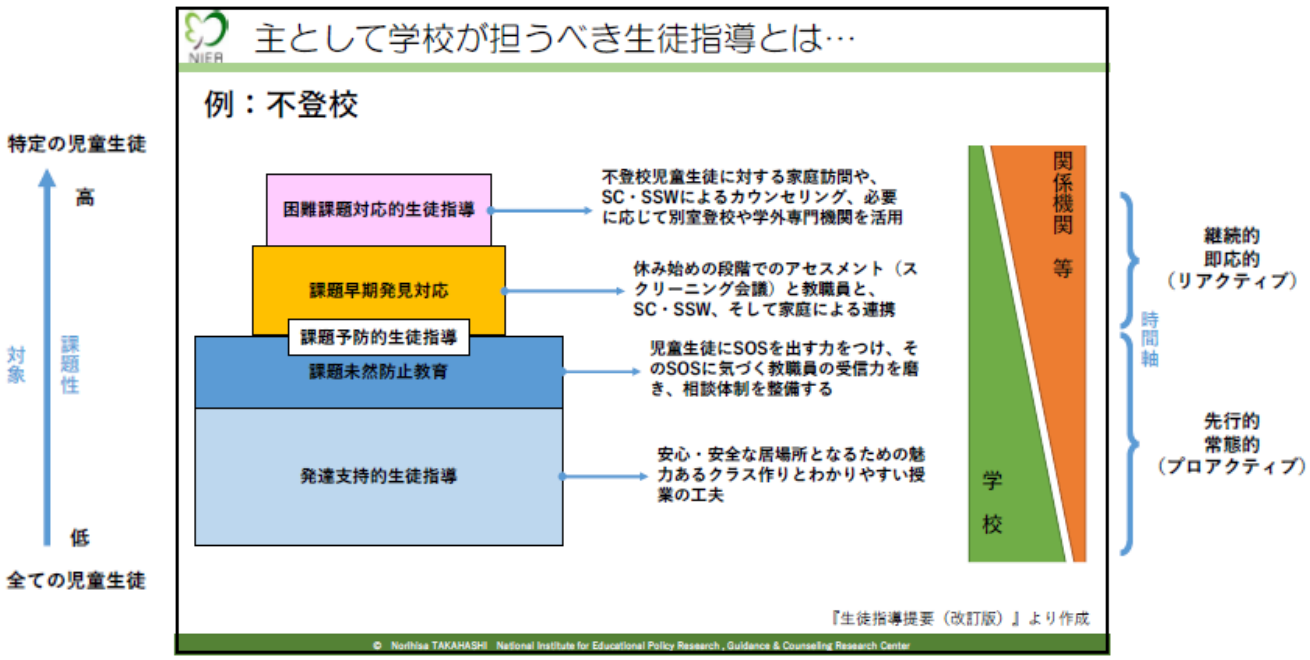
学級や学校をどの児童生徒にとっても落ち着ける場にし（居場所づくり）、活躍できる場面を計画・準備する活動（絆づくりの場の提供）　など

自己理解力や自己効力感、コミュニケーション力、他者理解力、思いやり、共感性、人間関係形成力、協働性、目標達成力、課題解決力　などを身につけることを支える

© Norihisa TAKAHASHI　National Institute for Educational Policy Research, Guidance & Counseling Research Center

生徒指導の構造「2軸3類4層構造」

＊重層的支援構造



（ 髙橋典久　総括研究官　【講義資料】「生徒指導提要の改訂について」、「生徒指導の機能を生かした授業づくり」より ）

生徒指導の4つの視点

◎4つの視点から授業でどんな支援ができるかを一緒に考えてみませんか？

1．自己存在感の感受 の視点から

[　　]

2．共感的な人間関係 の視点から

[　　]

3．自己決定の場の提供 の視点から

[　　]

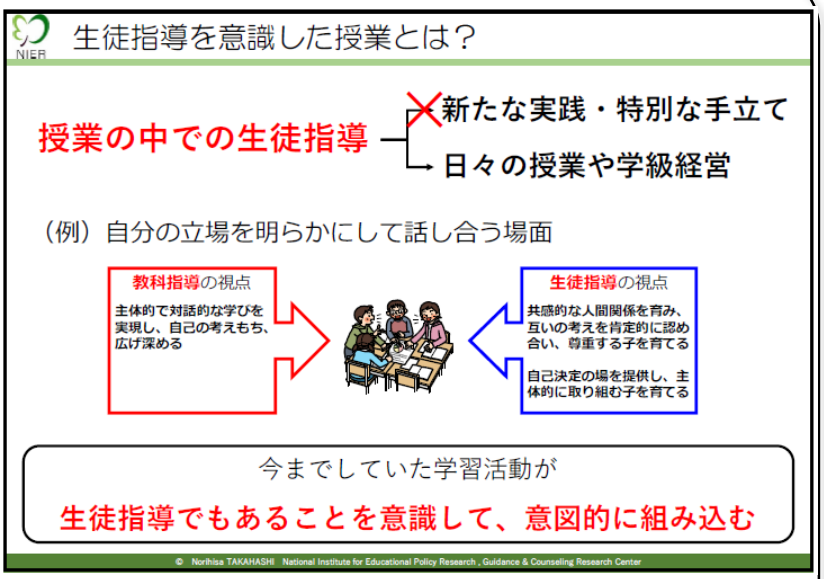
4．安心・安全な風土の醸成 の視点から

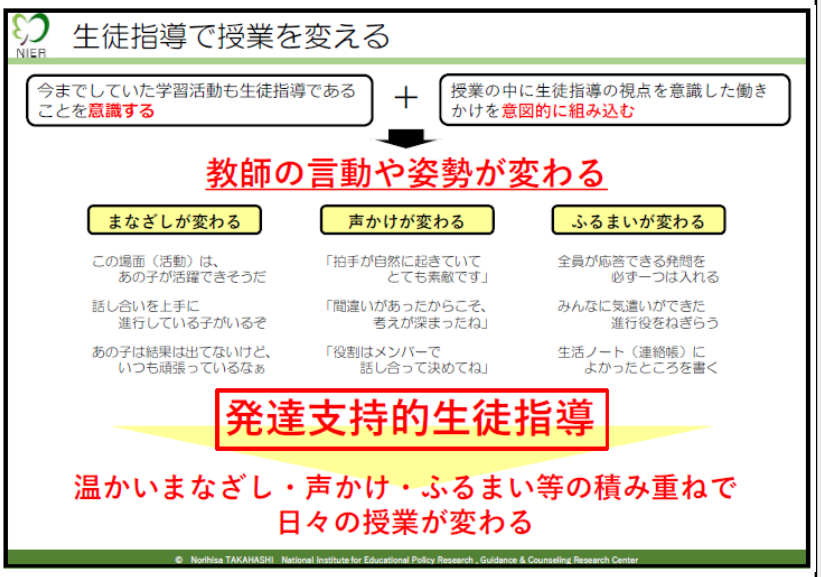
[　　]

◎まずはダウンロードから

生徒指導提要　文部科学省　検索

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1404008_00001.htm





＜参加者の声＞

発達支持的生徒指導が日常的に教室で行われていることが大切だということで、「生徒指導」という言葉のイメージが全く変わりました。「させる」ではなく「支える」ことを大切に、生徒指導を見直していきたいです。（小学校教諭）

今回の講義はとても参考になりました。生徒指導と考えたとき、どうしても問題解決的生徒指導に注意が引かれてしまいます。“学校にしかできない”生徒指導の機能として、“成長を促す生徒指導”の充実を目指していきたいと思います。伝達講習を通し、“チーム学校”として全教育活動に対応したいと思いました。（中学校教諭）

■ 9月以降の生徒指導関係研修会のご案内 ■

【 9月15日（金）】オープン講座（特別活動）　講師：國學院大學教授　杉田洋　氏

【 9月21日（木）】第２回教育相談関係連絡協議会　講話：長谷部悟エリアSSW

【10月16日（月）】第２回置賜地区いじめ・不登校防止連絡協議会　※キャリア教育の視点から

講師：文部科学省初等中等教育局教育課程課　長田　徹　教科調査官